

**防犯一口広報**

- 令和5年10月末現在の一宮警察署管内の刑法犯認知件数は1,683件で、前年同期比で+225件と大幅な増加になっています。
- 罪種別では自転車盗が前年同期比で+30件となっているほか、車上ねらいが同+27件、部品ねらいが同+12件、侵入盗が同+10件と増加しています。
- 自転車盗の約7割は、無施錠の状態被害に遭っています。自宅であっても必ず鍵を掛けるとともに、ワイヤー錠等を活用したツーロックを心掛けましょう。
- 10月末時点における車上ねらいの発生件数は、県下ワーストに位置しています。  
車両を離れる際は、わずかな時間であっても施錠し、「車内荷物ゼロ」を徹底しましょう。
- 特殊詐欺は10月末時点で49件（前年同期比+9件）の被害を計上しており、被害総額は約1億5,200万円に上っています。  
現在、国際電話を使った特殊詐欺が多発しています。国際電話は「+」の後に国を表す番号がつくもので、応答すると音声ガイダンスにつながり、未納料金名目等でお金を振り込まれます。また、掛け直すと通話を長引かされ、結果として高額な国際電話料金が発生し、その一部が犯人グループに流れる仕組みになっています。  
海外との電話が不要な方は、国際電話不取扱受付センター（0120 - 210 - 364）にて無償で発信・着信を休止することができます。
- 市では特殊詐欺対策装置の購入補助事業を行っています。留守番電話設定や特殊詐欺対策装置を活用し、犯人と直接会話をしない物理的な対策をとりましょう。

**交通安全一口広報**

- 愛知県下では交通死亡事故が多発しており、10月末時点で123名（前年同期比+12名）が亡くなり、死者数は全国ワーストに位置しています。  
一宮市内においても10月中に2件の死亡事故が発生し、本年の死者数は、昨年を上回る7名となっています。
- また、10月末現在の一宮市内の人身交通事故件数は、前年同期比+153件の1,139件、交通事故死傷者数も前年同期比+184人の1,353人となっており、依然として増加傾向にあり、いずれも県下ワーストとなっています。
- 県下的に、横断中の歩行者が関係する死亡事故が多発しています。  
その多くは、横断者が信号を無視したことや横断歩道以外の場所を横断したことが原因で発生しています。「乱横断」はやめ、歩行者も交通ルールを守りましょう。